

## 『 楽しい学校(楽校)の創造をめざして 』

～言語活動を生かした授業実践を通して～

### I 研究の内容

#### 1. 研究仮説

各教科等において、言語活動を生かした授業や実践活動の取り組みを行うことによって、思考力・判断力・表現力がはぐくまれ、楽しく進んで学ぶ児童の育成に近づくことができるであろう。

#### 2. 研究の具体的内容

- (1) どんな実践が効果的なのか、理論や先行研究を学び、研究を進める。
  - ・ 講師を招聘し、理論や先行研究の様子などを学ぶ。
  - ・ 先進校の実践や文献、参加した研修会などの伝達をする学習会を行う。
- (2) 授業実践・授業研究へ取り組む。
  - ・ 授業研究はブロック研究を基盤にして進める。ブロックより1人が全体に検証授業を提案し、全体会で協議を行う。指導・助言者を招いて、授業と研究内容について指導・助言をしてもらう。
  - ・ 検証授業をする学年以外も一人一実践として授業公開を行う。全員が参観し相互の学習の機会とする。
- (3) 聴く・話す力、話し合う力、読む力の向上に向けた継続した取り組みを行う。
  - ・ スピーチ広場を実施し、聴く話す機会を設ける。
  - ・ 家庭への啓発を行い、親子読書に取り組む。
  - ・ 朝読書を習慣化し、本への興味関心を高め、読む力の向上をはかる。
- (4) その他
  - ・ Q-Uについて学習し、調査・分析を児童理解に役立てる。
  - ・ S S Wの講師を招聘し、気になる児童の指導方法や対処方法などを相談しながら、学級づくりにおける問題点を学ぶ。

### II 成果と課題

#### (1) 関わって

- ・ 6月の検証授業および理論学習会の講師である義務教育課指導主事：保坂伸先生や11月の検証授業の講師である岩手小教頭：荻原はるな先生に本校の校内研究に関わって、参考になるお話や資料を提供していただいた。
- ・ 各種研修会還流報告を行い今後の教育活動に役立つ資料を提供してもらうことがで

きた。

(2) に関わって

- ・どの実践も、本校の校内研究（言語活動の充実）にかかわる日頃の取り組みや成果が表れた授業であった。
- ・授業を実施，観察することによって見えてくることは多い。参観した授業に対し，意見や感想を交流することはとても参考になり，学び合うよい機会であった。
- ・一人一実践は授業者の特性が出ていて，とても学ぶことが多かった。

(3) に関わって

- ・スピーチや親子読書など「継続は力なり」でよかった。
- ・低学年のスピーチ広場は，国語の授業と結びつけて取り組んだため，授業の中で指導もでき，負担も少なかった。ただ短期での取り組みになってしまうところが難である。
- ・朝読書は学校の中での日常のリズムになっている。

(4) に関わって

- ・Q-Uの分析を学級指導や個の見取りに生かすことができた。
- ・Q-Uの結果を受けて，どのような学級づくりをしたらよいか，みんなで話し合え有意義な研究ができた。
- ・事例研究を行い，SSWの津田先生に相談することで，気になる児童の指導方法や対処方法について学び，学級づくりに役立てることができた。

### III 成果物

(1) 検証授業指導案（ワークシート等も含む）

- 2年 国語科 大事なことを落とさずに話したり聞いたりしよう  
「ともこさんはどこかな」 八巻恵子
- 6年 音楽科 曲想を感じ取ろう 「木星」 平塚すみり

(2) 公開実践授業指導案（ワークシート等も含む）

- 3年 国語科 自分の考えを相手に伝える力  
「分類」ということ 志村克人
- 1年 体育科 言葉の感覚を動きで表す力  
「のはらのむし」 竹川由美子
- 4年 図工科 感じたことや思ったことを話したり，聞いたりする力  
「アートゲームで楽しく見よう」 土屋尚子
- 5年 理科 仮説を立てて実験を行い，その結果をまとめる力  
「おもりのはたらき～ふりこのふれかた～」 山田勝博

(3) その他（主なもの）

- 学習会や検証授業に招聘した講師の方々（保坂伸先生・荻原はるな先生・津田先生）にご提供いただいた，本校校内研究に関わる資料

（研究主任 竹川由美子）